

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部 接遇研修会のご案内

医療機関に求められる

接遇の基本とクレーム対応

日時 5月11日(土) 午後3時～5時

会場 姫路商工会議所会館新201研修室

姫路市下寺町43 TEL.0792-22-6001(代表)

講師 目白大学短期大学部教授 油谷 純子 先生

参加費 1,000円

定員 80人(定員になり次第締め切らせていただきます)



医療機関での接遇は、商店やデパートと異なり、ドアを開けたそのとき、その患者さんの状況を推量して、適切な対応、声かけをすることから始まることもあり、健康に不安を抱えた患者さんが安心して頼ることのできる職員とのコミュニケーションが特に求められています。

メディカルスタッフの接遇やサービスの質の向上は、医療への信頼と医療機関の印象をいっそう高めることにつながります。

姫路・西播支部では、毎年ご好評をいただいております「接遇研修会」を今年も開催します。今年は、目白大学短期大学部教授の油谷純子先生から、医療人としての心構え、発声やあいさつ、聞き方などメディカルスタッフに求められる接遇の基本を中心に、クレームへの対応も含め、わかりやすくお話いただきます。

新人の方に限らず、ベテランのメディカルスタッフの方も、日頃の業務を見直す機会に、ご参加ください。

お問い合わせは協会事務局 田村、岡本(TEL078-393-1817)まで

※切り取らずにこのままFAXして下さい※ FAX: 078-393-1802

姫路・西播支部 接遇研修会 参加申込書

参加者氏名	職種	経験年数	参加者氏名	職種	経験年数

市町名[] 医療機関名[]

TEL[-] FAX[-] 担当者[]

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.192 2013年4月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

姫路・西播社保協 学習会

社会保障の機能不全正すために



津市立三重短期大学教授の長友薫輝先生を講師に92人が参加した

協会姫路・西播支部も加盟する西播社会保障推進協議会(宗実琴子支部長が会長)が、4月13日に姫路市労働会館で学習会を開催した。「安倍政権下の社会保障改革にどう立ち向かうか～私たちの知恵と工夫、笑いと言葉が試される～」をテーマに、津市立三重短期大学教授の長友薫輝先生が講演し92人が参加した。

1面から続く -----

講師の長友先生は、日米で合意され交渉参加が発表された TPP について、「アメリカと日本の財界により、日本の医療分野の市場化と、外国企業の参加が狙われている」とし、「そうなれば、憲法 25 条の生存権に基づき、保険証一枚で安心して医療を受けられる『国民皆保険制度』が崩壊」と解説。さらに「ISD 条項があるため、日本の国内法よりもアメリカ議会の議決が重視される危険がある」と指摘した。

また、日本の社会保障の現状について、「払いたくても払えない高すぎる国保料の問題」「高すぎる介護保険料の問題」などを説明し「機能不全に陥っている」と指摘。さらに、2012年に成立した社会保障制度改革推進法では、自助・相互扶助の徹底、社会保障費の抑制、社会保障財源を消費税収に事実上限定することなどが目指されていることを解説した。

社会保障の充実を求める地域の運動では、「市民の生活実態を把握することが大事で、客観的な材料を作り、情報を発信し共有化することが必要」「調査などの活動を進め、事態の打開策を模索することが可能ではないか」などが提起された。

第 252 回支部幹事会より

3月28日(木) 午後2時30分～ 於 姫路じばさんびる
参加 4人



◆情勢と運動対策では、①小野市が生活保護費を「不正受給」したりパチンコなどで浪費したりしている受給者の情報提供を市民に求める「市福祉給付制度適正化条例案」を市議会に提案している問題。②厚労省が自治体の子ども医療費の軽減措置に関する調査結果として現在全国の1742市町村すべてで子ども医療費の何らかの軽減措置が取られていると発表した件、③日経新聞の「経済教室」で、松山幸弘キャノングローバル戦略研究所研究主幹は「医療事業体の大規模化を一診療報酬の引き上げ不要」と題する論文を掲載した内容、などについて意見交換した。④姫路市の子ども医療費助成制度の問題や、⑤夢前町産廃処分場建設計画についても議論した。また、今後の支部企画として「他科を知る会」「職員接遇研修会」についても意見を出し合った。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。お問い合わせは、FAX：078-393-1802 E-mail：tamura@doc-net.or.jp

TEL 078—393—1817 担当事務局；田村まで。

第 83 回評議員会にぜひご参加ください

協会は第 82 回評議員会後の半年、医療改善や経営対策、会員の身近な要求に応える活動など、様々な活動を行ってきました。2013年度の活動方針を協議するため、標記の会議を開催いたします。万障お繰り合わせの上ご出席いただくようご案内いたします。

■日時 5月19日(日) 13時～ / ■会場 兵庫県保険医協会会議室

13時～ 第83回評議員会
2012年度会務報告と2013年度活動方針案の件
2013年度予算案の件、役員改選ほか

15時30分～ 特別講演 「アベノミクスで国民は豊かになるか」

日本金融財政研究所所長 菊池 英博 氏



きくち ひでひろ 1936年生まれ。東京大学卒業、旧東京銀行(三菱東京UFJ銀行)入行。国際投融資の企画と推進、銀行経営に従事。ミラノ支店長、豪州東京銀行頭取などを歴任。文京学院大学教授、日本経済財政研究所所長。

自公政権の政権復帰以来、安倍首相は「アベノミクス」と称する経済政策を打ち出しています。その中身は、「大胆な金融緩和」、大型公共事業を復活させる「機動的な財政出動」、規制緩和を中心とした「成長戦略」の3つです。確かに、株式市場や不動産市場は活況を呈しており、「アベノミクス」歓迎ムードも漂っています。一方、「アベノミクス」により物価が上昇しても賃金が上がらなければ国民の生活は良くならないどころか、ますます困難になるとの懸念も広がっています。また、「成長戦略」による労働法制の規制緩和や社会保障費の削減、TPP交渉参加による国民皆保険制度の形骸化など重大な問題が指摘されています。講師の菊池先生は、バーナンキFRB議長など、アメリカ金融当局高官とも親交ある国際的エコノミストを講師に迎えての講演会です。是非ともご参加ください。

支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。
ぜひご投稿ください。よろしくお願ひします。

お問い合わせは、FAX：078-393-1802 E-mail：tamura@doc-net.or.jp

TEL 078—393—1817 担当事務局；田村まで。